校長室だより No.　２１ 平成 30 年９月 21 日(金)	強く　やさしく	六ツ美中部小学校校長 加　藤　嘉　一（かとう　よしかず）

進化していく学校　その１　－English　Street　&　Party－

今週３日間、始業開始時刻少し前に、さわやかな声で放送が入ります。「Good morning , everyone.　This is Endo speaking. Are you enjoying the English street week?　今日は、English Street の日です。１階、２階の渡り廊下では、英語やジェスチャーを使って話をする日です。ぜひ、英語で友だちに話しかけてみましょう。もしかすると、友だちや先生たちから英語で話しかけられるかもしれません。そんなときには、笑顔で恥ずかしがらずに英語を使ってみましょう。お昼の放課には、○年生、○年生を対象にした英語のゲームを体育館で行います。みなさんが来るのを待っています。Have　fun.　Don’t　be　shy.」

【English Street(上・中) &Party(下)】

これは、遠藤紫英良先生のアナウンスです。遠藤先生は、英語が専門であり、大変美しい発音をされます。今週３日間は、English　Street（本校が独自で作っている、放課に英語かボディランゲージで話す空間をつくる日）実施期間です。この企画は、英語教育担当の本多先生と遠藤先生中心に企画してくれています。年に数回こうした日をつくります。毎年工夫を凝らした企画をしてくれています。

昨年は、長放課の時間を使って２階の渡り廊下を英語空間にし、習った英語やボディランゲージを使って、先生やＡＬＴ、６年生の英語ボランティアと会話し、シールをもらう活動をしたり、６年生に英語のゲームコーナーを作ってもらって遊んだりしました。今年は、期間中の放課すべて１・２階の渡り廊下を English　Street とし、英語かボディランゲージのみの空間としました。(先生は行きますが、シールはなし) そして、昼の長放課に英語クラブの子が企画した英語での遊びを English　Party と題し、２学年ずつ遊ぶ集会をするといった企画を考えてくれました。とにかく「英語を使わざるをえない場面づくり」「英語を楽しむ時間づくり」「英語に慣れる時間づくり」をしたいというのが、わたしの English　Street を立ち上げたときの願いです。外国語活動が授業を含め多くの場面で見られるようになったこうした風景は、10 年前の小学校では、見られなかったのではないでしょうか。学校は進化しています。

先日、中学校の校長先生と話をしていて、専門が英語の先生からこんな話を聞きました。「やっぱり英語を教えるのは、ネイティブより日本人がいいと思うんです。なぜなら自分たちがアメリカへ行って、日本語教育ができる自信はないんですよ。」なるほどと思いました。（英語教育については、いろいろな考えがあります）日本語を母語として生まれ育った人の言語を獲得していく教育原理や、「わび・さび」のような日本特有のニュアンスを外国語で表現するには、日本語の意味を正しく理解していないとできません。学校という限られた場と時間（週に１～２時間）で、子供に言語を教える教育の原理や、日本語の理解など、大学の教育学のようなものの理解をＡＬＴに求めることは酷です。また、今の学習指導要領ではあらゆる教科指導に道徳教育の視点を入れることが示されています。これもＡＬＴが理解し、担うことは難しいことでしょう。（因みに、ＡＬＴのアルバート先生は、ガーナに戻ったら日本語を教える学校を作りたいという夢をもっています。放課には子供と運動場でサッカーをしたり、給食も一緒に食べたりしてくれ、素晴らしい先生です。）こうしてみると、現場の先生は、英語が不得手でも、子供とはどういうものかを、また授業の構成をあらゆる教科指導から学んでいることが強みです。

【ALT アルバート先生と English street】

一方で、ネイティブスピーカーとしてのＡＬＴも、その存在だけでも外国の空気をもつ強みがあります。子供にとってもネイティブの様々なものに触れられることは大きな価値です。そして、それを補助してくれるＳＴ（英語指導補助者）さんは、ＡＬＴと子供の間をとりもち、外国人というと身構えてしまう恐怖感を子供から取り除いてくれています。教員、ＡＬＴ、ＳＴの三者にそれぞれの強みがあり、英語教育の環境はどんどん良くなっていると思います。

昔ＡＬＴと授業する経験がほぼなかったわたしたちは、カセットテープから流れてくるネイティブの音を聞いて学習しました。わたしはＡＬＴがその代わりの存在になってはいけないと思っています。ネイティブの音はもちろん外国の文化や風習、英語にはない日本語の世界などについて、子供に直接感じさせる存在であってほしい。そして子供を知る教員と、様々な学校で授業補助をしているＳＴとで、どういう授業をしていくとよいかを研究しながら、子供にとってより良い外国語教育を少しずつ積み重ねていきたいと思います。

２３日（日）は岡崎市小学校球技大会　本校がバレー会場に

【各部の第１試合予定】　　がんばれ中部っ子

〇ソフト部　９時～　　対　矢作南小　（連尺小運動場にて）
　　勝てば 12 時 40 分ごろ～　対　奥殿小　　２勝で 29 日に進出

〇バレー部 10 時～　　対　六名小　　（本校体育館にて）１勝で 29 日に進出

※晴天の場合、本校運動場が駐車場になります。安全に十分注意を。